

# ビーだま

## ビーだまのように、キラリと光る一冊を

2018年1月～12月に発行された本の中から、とくにおすすめの本を紹介します

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

平成31年4月23日発行(年1回発行)

### ねーずみねーずみどーこいきゃ?

へっこぷっとたれた

おせんべやけたかな

こがようこ／構成・文 降矢なな／絵 童心社



「ねーずみねーずみどーこいきゃ?わがすへちゅっちゅくちゅ」子ねずみは巣に戻って、大好きなお母さんの胸に飛び込みました。わらべうたのリズムに合わせて、赤ちゃんに語りかけてみましょう。シリーズに『へっこぷっとたれた』『おせんべやけたかな』があります。

[赤ちゃん～]

### スプーンちゃん

小西英子／さく 福音館書店

スプーンちゃんが、お口までおいしそうな食べ物を選んでくれます。「プリリンリン」とプリンをすくい、グリーンピースは「ころころ」とこぼれます。

テンポのよい擬音とともに、彩りゆたかな食べ物がつぎつぎに登場します。



[赤ちゃん～]

## まんまるだあれ

いまもりみつひこ／文・切り絵 アリス館



色とりどりの丸の中に、いきものが隠れています。ページをめくると丸に模様が現れたり、にゅーつとつのが出てきたり。変化する形に想像は膨らみます。

鮮やかな色とシンプルな形の切り絵で身近ないきものを表現しています。

[赤ちゃん～]

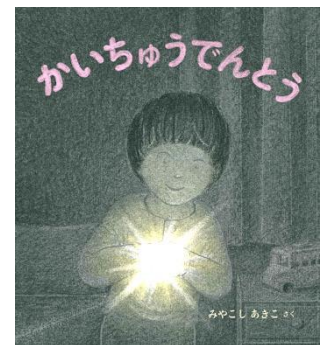
## かいちゅうでんとう

みやこしあきこ／さく 福音館書店

部屋の明かりを消して、懐中電灯のスイッチをカチ。照らし方を工夫して巨人みたいな大きな影を作り出したり、壁にくっつけて光を閉じ込めたりと、楽しみ方が無限に広がります。

微妙な濃淡で表現されたモノクロの世界からは、夜の静かな空気や奥行きが感じられます。

[幼児～]



## ちっちゃいおおきいおんなのこ

クレア・キーン／さく なかがわちひろ／やく ほるぷ出版



ちっちゃなマティスに弟が生まれました。ちっちゃなあくびをして、ちっちゃなベッドで眠ります。弟のお世話をしているうちに、マティスは自分が大きくなったことに気が付きます。

「お姉ちゃんになった」という嬉しくて誇らしい気持ちが伝わります。

[幼児～]

## にちょうびのぼうけん！

はたこうしろう／作 ほるぷ出版



ある日曜日の朝、ぼくに届いた手紙には「公園のベンチに行け！」「ただし、だれにもみつかったはいけない」と書かれていました。

差出人〈ミスターX〉の正体は？ベンチに隠された秘密とは？謎を解きながら読み進めると、いつも見慣れた場所が特別に見えてきます。

[幼児～]

## うまはかける

内田麟太郎／文 山村浩二／絵 文溪堂

うまはかける、きのねっこにあしをひっかける。うまはかける、いすにかける。

いろいろな〈かける〉が繰り返されてつながる、言葉遊びが楽しい絵本です。声に出して、リズムカルな響きを楽しみましょう。ユーモアあふれる絵も見どころです。

[幼児～]



## ねこはまいにちいそがしい

ジョー・ウィリアムソン／作・絵 いちだいづみ／訳 徳間書店



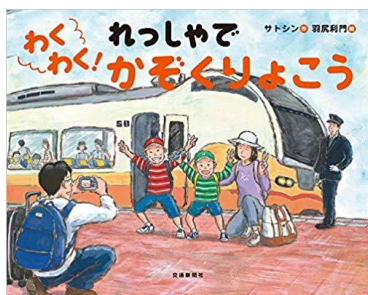
人間とくらすねこは、毎日大忙し。なぜなら、家族を起こすのも、宅急便の箱を破って中身を確認するのも、ねずみを連れてくるのも、全部ねこの仕事だからです。

家族の役に立っていると信じて疑わない、ねこの様子や表情が愉快的な作品です。

[幼児～]

# わくわく！れっしゃでかぞくりょう

サトシン／作 羽尻利門／絵 交通新聞社



家族四人、列車に乗って出発します。ローカル線から特急へ乗り換えて、まずはビールとジュースで乾杯したら、お待ちかねの駅弁です。列車は飛ぶように速く、ついに目的地に到着しました。

最後にあっと驚くしかけがあります。

[幼児～]



## あずき

荒井真紀／さく 福音館書店

あずきを地面にまくと、芽が出て黄色の花が咲き、やがて細長いさやにたくさんのあずきが実ります。その数なんと三百粒。

たった一粒のあずきが、美味しいあんぱんやいちご大福になるまでをドラマチックに描きます。



[幼児～]



## 王さまになった羊飼い チベットの昔話

松瀬七織／再話 イ・ヨンギョン／絵 福音館書店



神様の力で動物の言葉がわかるようになった羊飼い。病に苦しむ王子を助けてほしいと宮殿に連れてこられ、困ってしまいます。すると外からカラスの声が聞こえてきました。

背景に描かれた広々とした青空や山脈からは、チベットの自然の雄大さを感じられます。

[幼児～]